

令和6年度公共事業再評価調書

担当課名

砂防課

番号	18																																	
事業名	火山砂防事業				事業主体	静岡県																												
箇所名	やとざわみぎしせん 谷戸沢右支川				関係市町	伊豆市																												
事業採択年度	平成 27 年度		計画期間	平成27年度 ~ 令和9年度																														
用地着手年度	平成 29 年度		工事着手年度	平成 29 年度																														
再評価理由※	事業着手(H27)後10年が経過																																	
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	~R4年度	R5年度	R6年度見込	計																												
	605		427	28	5	460																												
事業概要	<p>谷戸沢右支川（伊豆市修善寺）は静岡県伊豆半島の中央部に位置し、保全対象として国道136号（緊急輸送路）、人家4戸、集落53戸を含む土石流危険渓流である。</p> <p>溪岸浸食により溪床には不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止したい。</p> <p>(2)事業内容 砂防堰堤工： 2 基</p>																																	
【視点1】	<p>(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、伊豆市においても令和2年度からこれまでに5件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。 被害想定区域を含む地区住民にアンケートを実施したところ、回答者8世帯中8世帯中が「事業を継続する必要がある」と回答しており、事業に対する地元住民からの要望も強い。 <p>(2)事業の投資効果</p> <p>○費用便益分析結果 (令和 6 年度時点)</p> <table border="1"> <tr> <td>B/C (i=4%)</td> <td>参考:B/C (i=2%)</td> <td>参考:B/C (i=1%)</td> <td>EIRR</td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td>1.7</td> <td>2.3</td> <td>4.1%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 総便益 (B) 491.0 億円 (平均便益：0.3億円) 総費用 (C) 476.0 億円 (建設費：4.6億円、維持管理費：0.5億円、用地残存価値：0.04億円) <p>○見込まれる効果 (定性的な効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 土石流による甚大な被害の防止 <p>(3)事業の進捗状況 (令和 6 年度見込み)</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>進捗率</td> <td colspan="2">内 訳</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>76.0%</td> <td colspan="2">(460 百万円 / 605 百万円)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業量</td> <td>1号堰堤</td> <td colspan="2">(9 m / 9 m)</td> </tr> <tr> <td>2号堰堤</td> <td colspan="2">(0 m / 9 m)</td> </tr> <tr> <td>用地取得</td> <td>53.8%</td> <td colspan="2">(3,491 m² / 6,491 m²)</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">評価 継続が妥当</p>							B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	1.0	1.7	2.3	4.1%	区分	進捗率	内 訳		事業費	76.0%	(460 百万円 / 605 百万円)		事業量	1号堰堤	(9 m / 9 m)		2号堰堤	(0 m / 9 m)		用地取得	53.8%	(3,491 m ² / 6,491 m ²)	
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																															
1.0	1.7	2.3	4.1%																															
区分	進捗率	内 訳																																
事業費	76.0%	(460 百万円 / 605 百万円)																																
事業量	1号堰堤	(9 m / 9 m)																																
	2号堰堤	(0 m / 9 m)																																
用地取得	53.8%	(3,491 m ² / 6,491 m ²)																																
【視点2】	<p>今後の事業の進捗の見込み</p> <p>現在では1号堰堤の用地買収はすべて完了し、令和6年度に完了見込みである。2号堰堤については、詳細設計を実施しており、地元住民からの期待も大きいことから、事業を計画的に推進し、令和9年度完了を目指す。</p> <p style="text-align: right;">評価 継続が妥当</p>																																	
【視点3】	<p>新たなコスト削減・代替案立案等の可能性</p> <p>コスト削減対策としては、残存型枠を採用可能な堰堤本体工等の構造物に対して採用することや、活用可能な建設発生土の現場内での有効活用や他工事への流用、新技術・新工法の活用を検討するなどコスト削減と工期短縮を図っていく。</p>																																	
対応方針(案)	<p>(1)対応方針(案) 本事業を 【 継続 】 する。</p> <p>(2)理由 事業は順調に推移しており、費用対効果も認められることから、事業を継続して整備の推進を図る。</p>																																	

費用便益比算出説明書

「谷戸沢右支川」土石流 (「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル(案)」国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部)

総括表

総便益B	[事業を実施しない場合の被害額]－[事業を実施した場合の被害額]	491百万円
総費用C	[建設費]+[評価期間内に必要な維持管理費]	476百万円
B/C		1.0

総便益

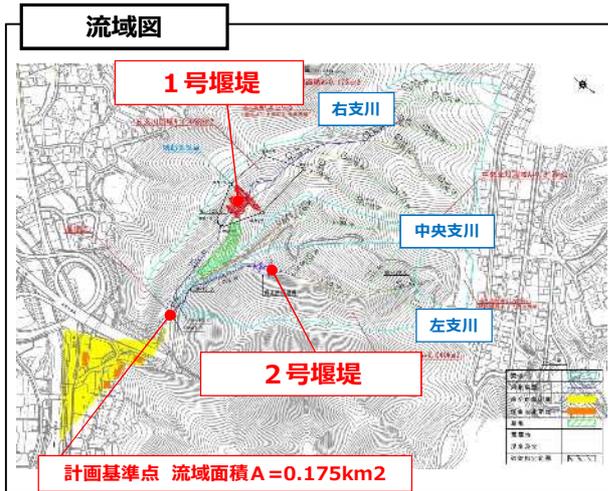
<p>[土石流対策事業を実施しない場合の被害額]－[土石流対策事業を実施した場合の被害額]</p> <p>年平均被害軽減期待額を評価対象期間64年(整備期間14年+耐用期間50年)について累計する。 ただし、年平均被害軽減期待額は算出基準年(令和6年)に基づく社会的割引率(4.0%)で現在価値化したものとする。</p> <p>総便益B = \sum 年平均被害軽減期待額 / (1+0.04) = 491百万円</p>

- ※ 年平均被害軽減期待額: がけ崩れ発生の生起確率(1/10年超過確率降雨及び1/50年超過確率降雨)それぞれに対応した被害軽減額の平均値の合計。
- ※ 人的被害額/1人あたりは、1/50年超過確率降雨のみで発生し、市町の人口比率を反映した各年齢別人的被害額の平均額である。その平均額を被害想定区域内の死者数を想定し乗じて人的被害額を算定する。
- ※ 整備期間中の被害軽減額は、事業費に比例して発生するものとする。

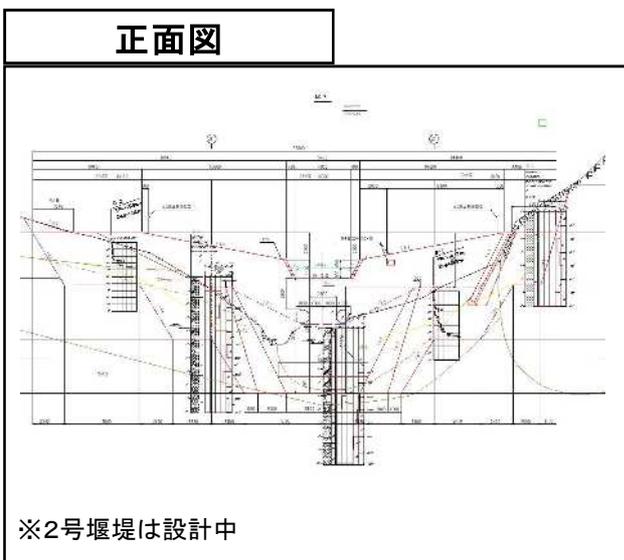
総費用

<p>[建設費]+[評価期間内に必要な維持管理費]</p> <p>各年次の建設費と維持管理費(過去5ヶ年の平均値)を評価対象期間64年(整備期間14年+耐用期間50年)について累計する。 ただし、各年次の建設費及び維持管理費は、算出基準年(令和6年)に基づくデフレーター及び社会的割引率(4.0%)で現在価値化したものとする。</p> <p>総費用C = \sum 年間建設費 / (1+0.04) + \sum 年間維持管理費 / (1+0.04) = 463百万円 + 13百万円 = 476百万円</p>

1. 位置図



2. 事業概要



事業目的

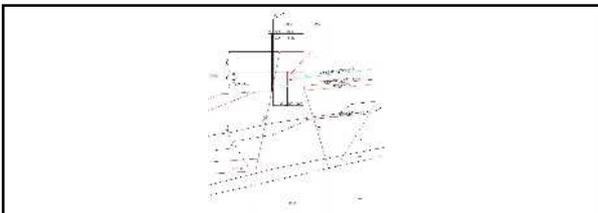
谷戸沢右支川（伊豆市修善寺）は静岡県伊豆半島の中央部に位置し、保全対象として国道136号（緊急輸送路）、人家4戸、集落53戸を含む土石流危険渓流である。谷戸沢左支川上流では、溪岸浸食による不安定土砂が堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。

事業内容

- ・ 溪流名 : 修善寺川支川大下沢
- ・ 計画期間 : H27～R9
- ・ 事業費 : C=605百万円
- ・ 事業量 : 堰堤工（不透過型）



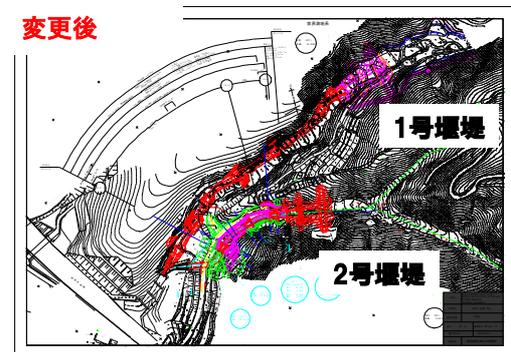
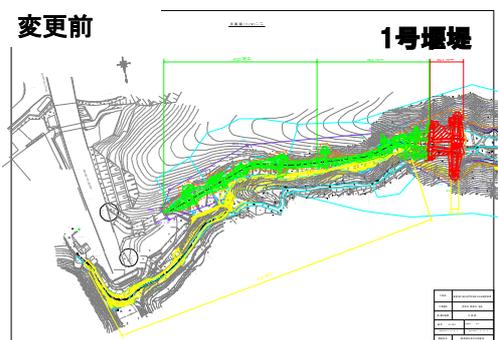
横断図等



3. 谷戸沢右支川の事業概要

前回からの変更点・理由

	前回 (R元)	今回 (R6)	主な変更理由
①計画期間	H27~R3	H27~R9 (+6年)	・地元からの要望で、事業への協力が得られることになったため、2号堰堤を追加し完了年度を延伸した。
②全体事業費	319百万円	605百万円 (+286)	・地元からの要望で、事業への協力が得られることになったため、2号堰堤を追加し事業費が増加した。



4. 事業の投資効果

事業の投資効果 (費用対効果の検証)

総便益 (B)

総便益 4.91億円

- 直接被害
 - ・家屋被害、道路被害、人的被害 (逸失利益)
- 間接被害
 - ・営業停止、交通途絶、人的被害 (精神障害)

総費用 (C)

総費用 4.76億円

- ・建設費
- ・維持管理費



費用対効果(B/C):1.0 経済的内部収益率(EIRR):4.1%

前回の費用対効果(B/C):2.4
2号堰堤の追加により、B/Cが低下